

# 「令和5年度 九州・沖縄における産学連携デジタル人材育成調査等事業」調査報告書

---

1. ニーズ調査結果
2. 交流事業の実施内容
3. 今後の連携方策(素案)について取りまとめたもの

## ニーズ調査結果

---

# 1 立命館アジア太平洋大学(大分県)



## 学校法人立命館 立命館アジア太平洋大学 大分県別府市十文字原1-1

### <概要>

立命館アジア太平洋大学 (APU) は、2000年4月に伝統と歴史を持つ学校法人立命館が設置した、日本初の本格的な国際大学です。世界各地から集まる留学生 (国際学生) が学生の半数を占め、教員も約半数が外国籍という多様性に満ちた大学として、多文化・多言語環境のキャンパスを創り出しています。また、日本語・英語の二言語教育により、高い言語運用能力を獲得すると同時に、世界中の優秀な若者の日本留学や学位取得への可能性を切り開いています。開学以来、166の国と地域からの国際学生を受け入れている。

### 【取り組み】

- ・留学生入試業務を完全オンライン対応
- ・巨大データ基盤「立命館データプラットフォーム」の構築
- ・Zoomなどを利用したオンラインオンデマンド授業の展開

### 【求める人材】

- ・全体のDX推進方針を策定できる人材
- ・教育データ活用に詳しい人材

### 【今後の展望】

- ・九州工業大学と連携し、技術的・数理的な教育力も取り入れて首都圏の大学に対抗する競争力を高めていく
- ・従来の大学の役割に加えて「人材の能力開発」を軸にプログラムを組んでいく

## 2 株式会社LAplust(長崎県)



### 【取り組み】

- ・病害虫診断の画像認識AIアプリケーションの提供
- ・AIを活用して病気を診断する医療システムの開発
- ・小規模・高精度AIの開発

### 【求める人材】

- ・ユーザー目線で設計ができる人材
- ・成功・失敗の要素を分析し、将来のプロジェクトに応用できる人材

### 【今後の展望】

- ・工場の生産管理システムの導入など、製造業にも事業を展開
- ・転移学習、ファインチューニングによって導入コストを削減できる仕組みを考えていきたい

株式会社LAplust  
長崎県長崎市西坂町5-16

### <概要>

収益悪化・後継者不足・環境問題など、農業の生産現場が抱える様々な課題に対して、AI・ドローン・IoT等の最先端ICT技術を活用した農業と地球環境に好循環を生むサービスを提供し解決へと導きます。

### 3 株式会社 okicom (沖縄県)



株式会社okicom  
沖縄県宜野湾市大山1-17-1

#### <概要>

沖縄に生まれて40年、私たちokicom は、企業・自治体の抱える様々な課題に対して、ITとノウハウを提供し解決を支援してきました。

「業務支援による経済的発展」と「okicom が取り組む地域課題への挑戦」の課題解決を持って、私たちokicomは楽しい未来をつくりこみます。

#### 【取り組み】

- ・もずく収量予測システム (AIとドローンを活用)
- ・琉球びんがたNFT (伝統工芸品をデジタルデータで販売)
- ・琉球空手の型の判定システム

#### 【求める人材】

- ・企画段階の上流工程ができるエンジニア
- ・変化を恐れずチャレンジ精神のある人

#### 【今後の展望】

- ・大企業と沖縄産業のテクノロジーギャップをXで埋めたい
- ・自社の独自製品の開発
- ・沖縄から世界に紹介できるような事例を作る

## 4 ウミトロン株式会社(東京都)

UMITRON



ウミトロン株式会社  
東京都品川区東五反田1-10-7

### <概要>

ウミトロンは、テクノロジーカンパニーとして、水産養殖における最大の課題である給餌コストの最適化を皮切りに、水産養殖産業にとってボトルネックとなる課題を特定し、あらゆる手段で解決していきます。その対象は生産者をはじめ、消費者や地球そのものも該当します。

### 【取り組み】

- ・AI技術を使った餌の自動給餌システム、および魚介類の成長監視システムを開発
- ・東京工業大学、名古屋大学を中心とした研究グループと共同で養殖向けの海洋データを観測

### 【求める人材】

- ・画像系のエンジニア(AIの知見があるとなお良い)
- ・テクノロジーの社会活用に意欲的な事業プランナー

### 【今後の展望】

- ・養殖業界の安定的なバリューチェーンの構築

## 5 株式会社グッデイ(福岡県)



### 株式会社グッデイ 福岡県福岡市博多区中洲中島町2番3号

#### <概要>

福岡、佐賀など九州北部を中心とした5県で同名のホームセンターを64店舗展開しており、特に福岡ではよく知られた存在。2015年頃からデータ分析・活用に力を入れており、第1回日本DX大賞を受賞。

#### 【取り組み】

- ・業務にTableauやGoogle Workspaceを導入してIT推進
- ・AIで販売数を予測し発注量を最適化
- ・データ可視化により、従業員が販売施策を立てやすくなった

#### 【求める人材】

- ・小売データの分析知見がある人材
- ・事業の課題を定義し、解決までの道筋を提示できる人材

#### 【今後の展望】

- ・需要予測、在庫管理のデータ分析について実験中
- ・小売データ分析プロジェクトのさらなる対外的アピール

## 6 株式会社セイブ(佐賀県)



### 株式会社セイブ 佐賀県西松浦郡有田町南原甲753

#### <概要>

機器用ガイシ(電柱を支える器具)の製造・販売をメインに行う企業。原料粉碎から最終検査までを一貫して行うことで、市民の暮らしに電気を運搬する支援を行っている。

#### 【取り組み】

- ・AI・IoT推進室を設置してDX推進
- ・データに基づいた品質管理と独自開発のモニタリングシステムで生産性向上
- ・「有田DXラボ」を立ち上げてモニタリングシステムの提供とコンサルティング・リスクリング(人材育成支援)を展開

#### 【求める人材】

- ・DXコンサルティングができる人材
- ・DXの事業企画に携われて、技術の話題についていける人材

#### 【今後の展望】

- ・コンサルができるような人材育成
- ・クラウド導入など、DXのさらなる推進

## 7 テラスマイル株式会社(宮崎県)



### 【取り組み】

- ・データ活用による営農支援サービス「RightARM」
- ・栽培管理システム、環境センサー、気象情報などを加味して収量予測

### 【求める人材】

- ・課題の整理と言語化が得意な人
- ・農家や農協など多様な人を巻き込んでプロジェクトを進められる人

### 【今後の展望】

- ・愛媛大学と連携中のDX補助事業「トライアングル愛媛」を推進していきたい
- ・農業テック業界のバリューチェーンの安定化

テラスマイル株式会社

宮崎県宮崎市橘通西1-5-30

### <概要>

テラスマイルは、デジタルと現場を融合させた“農業情報基盤”を提供している会社。私たちは、営農者を豊かにする新しいエコシステム(情報基盤)を構築することを目指す。2017年から「出荷予測」について研究開発を開始し、現在は野菜を中心に5品目で実用化に向けた実証を行っている。

## 8 やまやコミュニケーションズ(福岡県)



### 【取り組み】

- ・熟練工の作業ノウハウを自動化する「たらAI検査システム」が有名
- ・AI導入は2019年ごろから工場で行い始めた
- ・九州大学や立命館大学とロボットやAIの研究開発等で連携

### 【求める人材】

- ・プログラミングスキルよりも、Webマーケティング等のスキルがあったほうが良い

### 【今後の展望】

- ・様々な大学との連携を強めていきたい
- ・DX人材獲得戦略の拡大

### やまやコミュニケーションズ 福岡県糟屋郡篠栗町彩り台1番1号

#### <概要>

これからますます大切な価値となる「安心安全であること」を何より大切に、食生活だけではなく、その先の食文化になるような価値を提案し続けること。そして、私たちの存在している社会と、そこで生活する人々の幸せに貢献していくことを使命として、企業活動を続けます。

## 9 リエゾングループ(長崎県)



「安心して過ごせる日常」  
と「笑顔あふれる楽しい  
時間」の為に

Liaison NAGASAKI

### 社会福祉法人春秋会 リエゾン長崎 長崎県長崎市江川町100-1

#### <概要>

Liaison Group(リエゾングループ)は、1996年、長崎南に高齢者の「住まい」を創立。以来、介護、福祉、看護、リハビリテーション等の在宅ケアを通じ街を支える事業を続けています。

#### 【取り組み】

- ・計画書/報告書の作成など、事務作業の効率化でX推進
- ・医療福祉機構から推進費用1800万円の補助を獲得
- ・業務効率向上やコミュニケーション円滑化につながっている

#### 【求める人材】

- ・ルーティンワーク、事務作業を苦に感じない人
- ・課題に対する言語化能力が高い人

#### 【今後の展望】

- ・アルバイト、パートタイムの方々のXリテラシー向上
- ・韓国、台湾、シンガポールなどで介護サービスを展開
- ・そのための外国人スタッフの採用強化

# 10 株式会社ワイズ・リーディング(熊本県)



Y's READING



株式会社ワイズリーディング  
熊本県熊本市北区高平3丁目43-11

<概要>

医療機関から依頼されたCT、MRIといった医用画像をネットワークを利用して診断する「遠隔画像診断」を基幹事業とし、健診施設向けの画像診断システムとあわせ、医療機関に遠隔画像診断サービスを提供。また、医療分野への人工知能応用を推進すべく人工知能研究所を設立。

【取り組み】

- ・遠隔画像診断クラウドサービスを展開
- ・医学生向けに画像診断セミナーを実施
- ・その他、ChatGPTや製造業向けのDX推進システムも開発中

【求める人材】

- ・画像系のエンジニア
- ・上流の企画工程からできるプランナー

【今後の展望】

- ・DX人材獲得戦略の強化
- ・大学などへの医療教育の拡大

# 11 アビスパ福岡(福岡県)



アビスパ福岡株式会社  
福岡市東区香椎浜ふ頭1丁目2番17号

## <概要>

アビスパ福岡は、スポーツクラブとして地域の人々と共に発展すべく、地域の人々に愛され、信頼されるクラブづくりを目指します。また、豊かな地域社会づくりのためにスポーツ文化を振興すべく、スポーツの価値を伝えるための草の根レベルの啓蒙活動を実施していきます。

## 【取り組み】

- ・スマートHRなどメガベンチャーとのスポンサーシップを締結
- ・マネーフォワードによる請求書の電子化や経費精算の効率化を推進
- ・企業向けのDXセミナーを開催

## 【求める人材】

- ・DX人材全般
- ・スポーツの普及と発展に熱意のある人

## 【今後の展望】

- ・スポンサー企業が人材育成をやっているので、一緒に乗っかっていきたい
- ・デジタルマーケティングやDX推進戦略の策定

## 12 オリオンビール株式会社(沖縄県)



### オリオンビール株式会社 沖縄県豊見城市字豊崎1-411

#### <概要>

沖縄県で60年以上の歴史とノウハウを誇るビールメーカー。現在はビール類はもちろんチューハイや清涼飲料など幅広いジャンルの商品を販売し、オリオンファンに支持されている。また全国展開・海外展開にも力を入れ、「オリオンビール」のみならず「沖縄」のブランド認知向上に取り組んでいる。

#### 【取り組み】

- ・基幹システムのデータ収集と分析に注力
- ・原価、財務諸表、売上動向や各商品の利益などのデータを集約している
- ・商品ごとの利益を可視化、営業やマーケティングに活用

#### 【求める人材】

- ・データ分析に明るい人材
- ・データ活用プロジェクトを企画できるプランナー気質の人材

#### 【今後の展望】

- ・DXやデータサイエンス専門人材の採用拡大
- ・収集データの分析プロジェクトの立ち上げ
- ・大学生のインターンの強化

# 13 みんなの銀行(福岡県)



みんなの銀行 (株)  
ファイナンス  
Minna Bank, Ltd.  
無料・App内課金が有ります



株式会社みんなの銀行  
福岡県福岡市中央区西中洲6番27号

## <概要>

口座開設・ATMでの入出金・振込・支払いまで、スマホ一つですべてのサービスが完結する日本初のデジタルバンク。実店舗がなくスマホ一つで完結できるため、キャッシュカードや通帳は必要なく口座開設をしたその日から利用できる。

## 【取り組み】

- ・スマホアプリを通じて一般向けの金融サービスを展開
- ・クラウドの導入で複雑な社内システムを効率的に改善
- ・B2B事業ではアプリケーションのAPIを通してキャッシュレスシステムを展開

## 【求める人材】

- ・エビデンスベースの議論、PDCAを回せる人材が欲しい
- ・アンテナを張って最新情報をキャッチアップする意欲があるとなお良い

## 【今後の展望】

- ・DX関連研修による社員のリテラシー強化
- ・データ・ドリブンな文化の醸成

## 交流事業の実施内容

---

# 九州・沖縄産学デジタル人材育成フォーラム「地域で活躍するAI・DX人材とは？」：概要



九州・沖縄  
産学デジタル人材  
育成フォーラム

参加無料

「地域で活躍するAI・DX人材とは？」  
2024.3.15  
14:00-17:00  
パピヨン24ガスホール

プログラム

お申込み

お問い合わせ

日時：2024年3月15日（金）14:00～17:00

場所：パピヨン24ガスホール

参加者：72名（申込者97名）

登壇者：内田 誠一 氏（九州大学 副学長）

金杉 祥平 氏（経済産業省 商務情報政策局 情報技術利用促進課 課長補佐）

黒木 浩二 氏（旭化成株式会社 経営企画部 経営企画室 課長）

藤本 宏文 氏（株式会社シティアスコム 代表取締役社長）

藤野 友和 氏（福岡女子大学 国際文理学部 環境科学科 教授）

赤星 良輔 氏（株式会社グルーヴノーツ ディレクター）

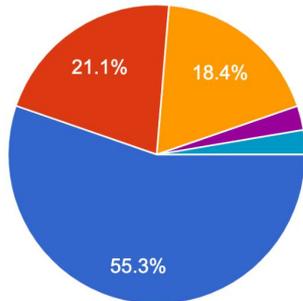
【平均満足度】 4.0

【所感】 各登壇者から、デジタル人材育成に向けた取り組みが報告された。参加者からは、産学連携の重要性や、実践的な教育の必要性が指摘された一方、企業の実態に合わせた社員教育の課題や、より具体的な連携施策への期待が示された。また、パネルディスカッションでは各機関の取り組みが共有されたものの、テーマに沿った議論が十分にできず、意見交換の時間不足が課題として挙げられた。産学官が一体となったデジタル人材育成の方向性は共有できたが、**より実践的で具体的な連携施策を検討する必要があり、そのための継続的な対話の場が求められている**ことが分かった。次ページよりアンケート結果（N=38）

# 1. あなたの職業や所属についてあてはまるものを教えてください

1. あなたの職業や所属についてあてはまるものを教えてください

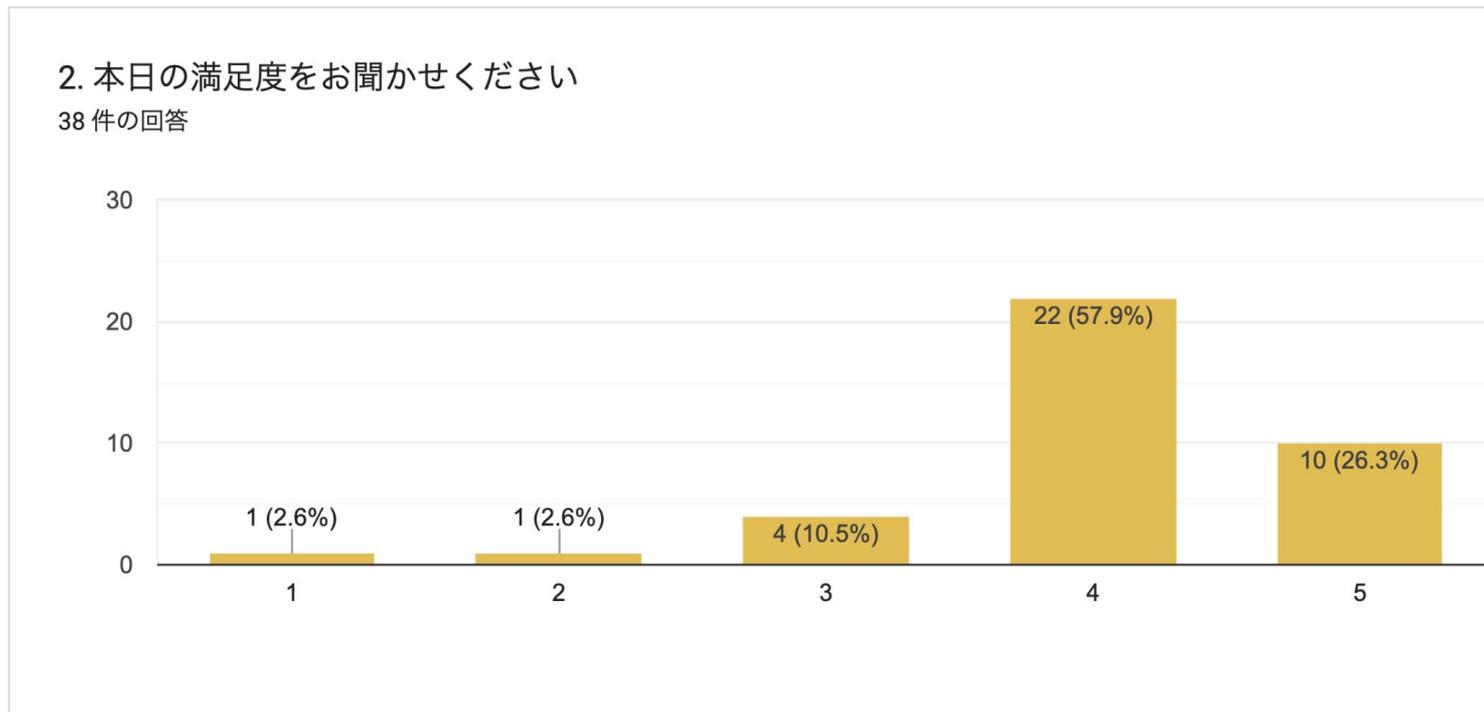
38件の回答



- 民間企業/個人事業主
- 公務員/団体職員(非営利)
- 教育機関
- 研究機関/学生
- 産業支援機関
- 一般社団法人

回答リスト	回答数
民間企業 /個人事業主	21
公務員 /団体職員 (非営利)	8
教育機関	7
産業支援機関	1
一般社団法人	1

## 2. 本日の満足度をお聞かせください

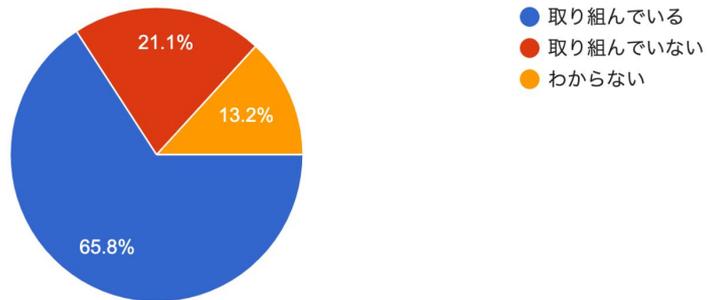


### 3. 上記の満足度の理由や印象に残ったことや気付き、感想をご自由にお書きください

- DXやAIに対して連携が必要な事が理解できた。
- プレゼン資料がわかりやすい
- 九州圏内の大学は、データサイエンスに力を入れている。
- 大学の立場からは分からない企業側の感覚が聞けたことはかなり参考になりました。
- 登壇された方々の講演内容は、とても参考になりました。学びに、刺激になりました。
- 様々な施策が乱立しており、その差別化が大変に思います。統合できないものかと思いました。
- もっと産学連携の場が必要。産業界からのもっと実践レベルをカリキュラムの中に組み込んで欲しいと考えには共感します。
- 国の方針をふまえ、産学官一体となってデジタル人材育成に力をいれていること、また、教育に関するインフラも整ってきていることがわかりました。企業としては、実際の業務課題に対してAI・DXを適用していこうとしている中で、既存社員に対する教育をどのように進めていこうかが課題でもあり、そのあたりに対して是非ご支援を頂ければと思います。
- 様々な方が参加されており、意見交換がなされていた。一方で意見交換の時間が全く足りなかったように感じた。時間が足りないようにも感じました。またせっかく多くの方が参加されていたにも関わらずお話しすることができなかつた方も多かつた。もう少しフランクに話せる場がほしいです。懇親会の場があればもう少し話すことができたかもしれません。いずれにせよ、参加された方は豪華だったと思いますが、消化不良が多く残りました。
- 企業・大学・学生、それぞれのマインドセットが必要かなと思われる
- DX推進課題を大学側と企業側、行政側からそれぞれヒアリングできたこと
- 九州女子大で行われている提供データの分析、勉強会は面白い取り組みだと感じました。
- 導入企業自身から実際の活用事例や導入時の苦労話などが聞きたかつた。
- 数理・データサイエンス・AI教育の現状を知ることができ、大変勉強になりました。
- 産業界の取り組み状況を知ることができた
- 誰向けのメッセージなのか。報告会に近い印象を受け、残念。
- 業務都合にて後半から参加しましたが、内容の詰まった良いフォーラムでした。
- 経済産業局の取り組みや課題意識について、またディスカッションにおいて各機関のお取り組みについてリアルなお話を伺うことができたことなどが良かったです。
- 産学の具体的な取り組み内容やトレンドを知ることができたから。移動式の椅子のため仕方ないと思うが、同じ連結椅子に座っていた方が貧乏ゆすり含めよく動く方で、その都度椅子が揺れ、軽い車酔い状態になった。会場選定の場合は配慮してほしい
- 内田先生の話は大変参考になりました。
- 現場の声がきけた
- パネルディスカッションでは、各者の様々な取り組みを、具体的に教えてもらい、非常に参考になりました。
- 産学官連携での取り組み期待しています。
- 今回は、産学のDXでしたが、官でもまさに同じ苦しみ（DX人材育成、DX推進）があることを改めて認識できました。産学官でDX推進を実施していく必要性を感じました。
- 日本が置かれている状況が良く分かつた。その対策内容もひしひしを伝わった。
- 各人がご自身のフィールドでのお話に終始しており、それらを統合するようなセッションが欲しかつた。またテーマである「地域で活躍するAI・DX人材とは？」の問いに答えられるようなプレゼン内容ではなかつた。

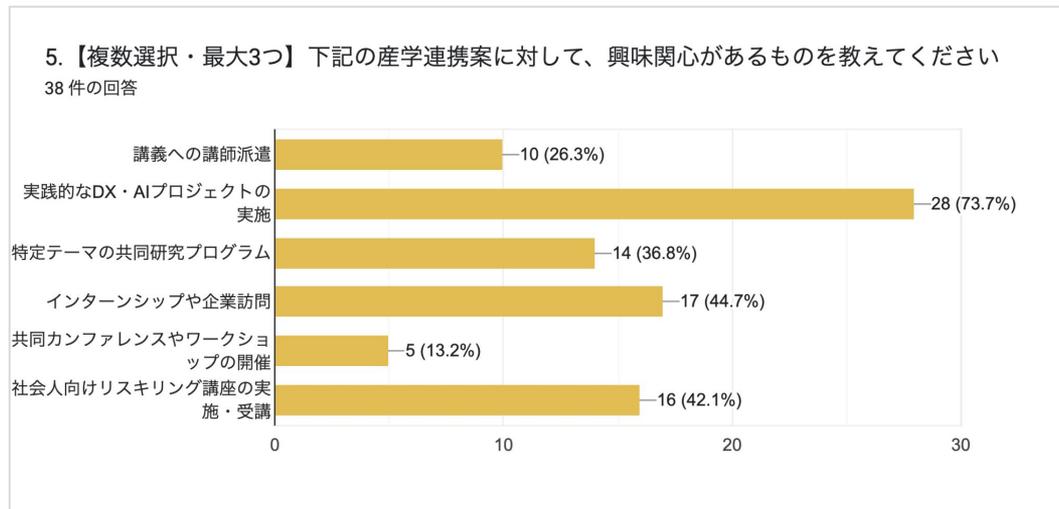
## 4. 現在、あなたが所属する企業、大学や研究機関において、産学連携に取り組んでいますか？

4. 現在、あなたが所属する企業、大学や研究機関において、産学連携に取り組んでいますか？  
38件の回答



回答リスト	回答数
取り組んでいる	25
取り組んでいない	8
わからない	5

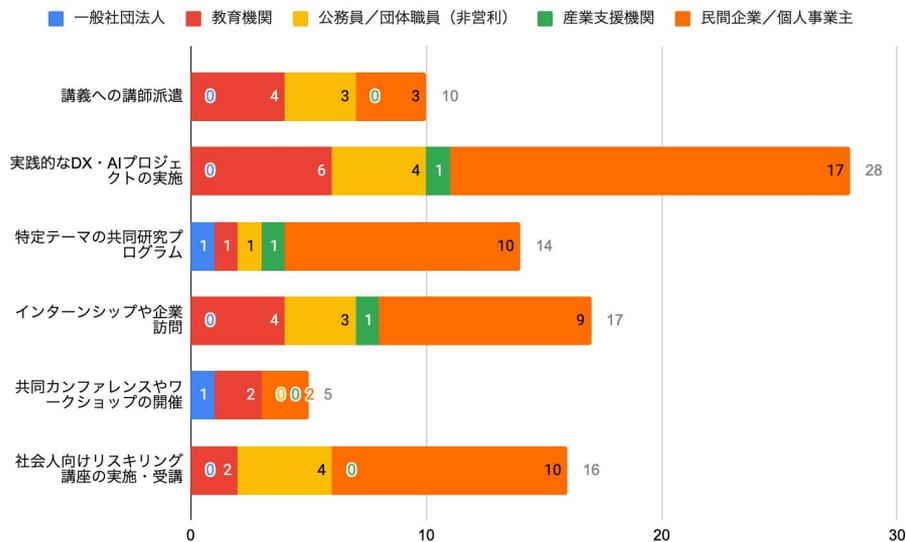
## 5. 【複数選択・最大3つ】下記の産学連携案に対して、興味関心があるものを教えてください



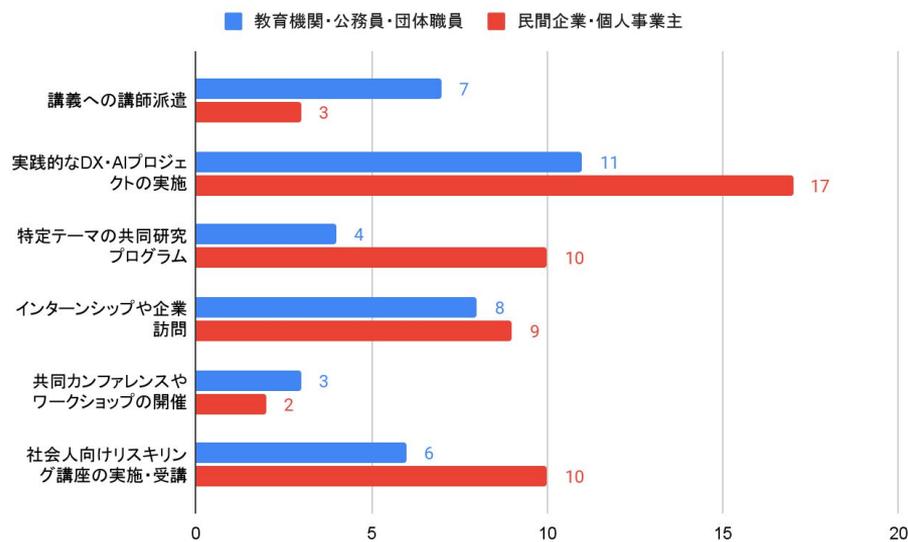
回答リスト	回答数
講義への講師派遣	10
実践的なDX・AIプロジェクトの実施	28
特定テーマの共同研究プログラム	14
インターンシップや企業訪問	17
共同カンファレンスやワークショップの開催	5
社会人向けリスキリング講座の実施・受講	16

## 5. 産学連携案に対して、興味関心があるもの：内訳

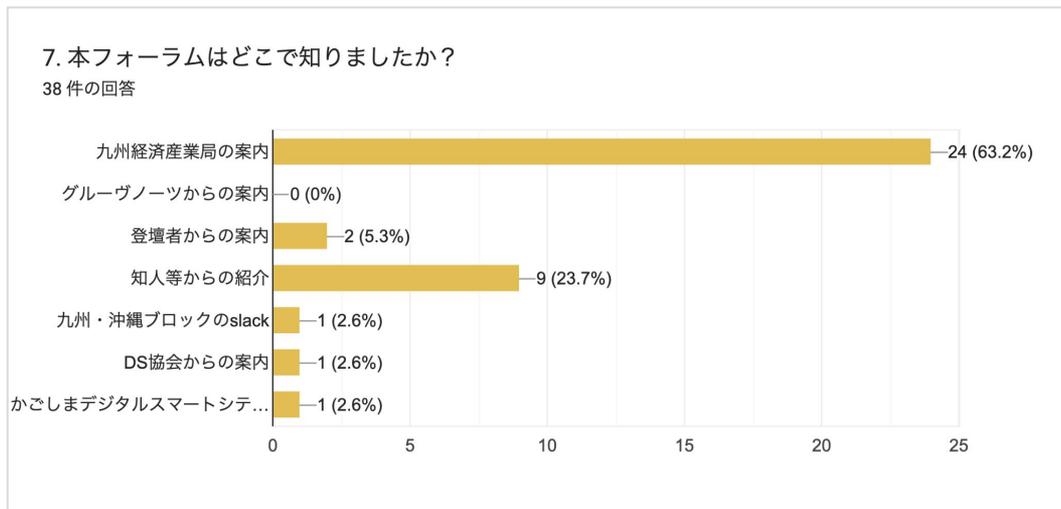
### 職業・所属ごとの回答数



### 業界ごとの回答数



## 7. 本フォーラムはどこで知りましたか？



回答リスト	回答数
九州経済産業局の案内	24
グルーヴノーツからの案内	0
登壇者からの案内	2
知人等からの案内	9
九州・沖縄ブロックのSlack	1
DS協会からの案内	1
かごしまデジタルスマートシティ推進協議会経由での案内	1

## 8. 今後、産学連携、デジタル人材育成、DX等に関して、参加してみたいテーマ、イベントがあればご記入ください。

- 他社の取組をたくさん参考にしたいです。
- 多種多様なテーマに興味があります。
- 企業を変えられるDX人材育成
  - 1. データ分析、マテリアルズインフォマティクスに関する内容
  - 2. 企業におけるDX事例のご紹介
- 産学連携、デジタル人材育成
- 現地およびオンラインの同時開催にして欲しい。現地参加の場合は発表者の資料をダウンロードできるなどの特典を付ければ現地参加の数も一定数担保できると考える。
- オープンイノベーション
- 管理部門におけるデジタル人材の育成方法
- 産学連携、デジタル人材育成、DX全て興味があるので、ご案内等頂ければ都度検討し参加させていただきます。
- 地元企業のDX、DS推進のご支援ができればとても嬉しく思います。
- 各機関が、自らの取り組みの参考になりそうなテーマであれば、積極的に参加させていただきたいと思います。
- 色々なテーマで話を聞きたい
- かごしまデジタルスマートシティ推進協議会において、「稼げるデジタル人材」育成をテーマにしていることから、今回のテーマを深掘りしていくような会に興味がある
- 地域モビリティ、EV、自動運転システムの社会実装とともに、新たなサービス共創のチャンスとリスクが大きくなってきていますので産学官連携の強力な取り組み
- 日本政府のDXへの取り組み状況。

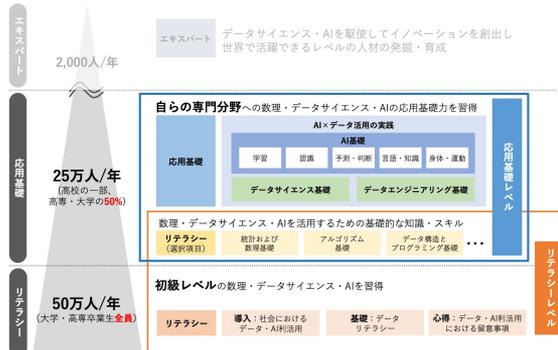
## デジタル人材教育に向けた産学連携方策(素案)

---

# 調査をもとにしたデジタル人材の対象層と教育内容

文部科学省デジタル人材育成推進協議会(第2回)配付資料

数理・データサイエンス・AI教育(リテラシーレベル・応用基礎レベル)



[https://www.mext.go.jp/content/20221223-mxt\\_senmon01-000026605\\_07.pdf](https://www.mext.go.jp/content/20221223-mxt_senmon01-000026605_07.pdf)

## 本事業の実施内容

九州・沖縄エリアの  
データ・AI活用企業13社ヒアリング

上記のうち10社の訪問取材・事例教材化

産学交流事業(フォーラム)の実施

## 地域企業に必要な「デジタル人材の対象者と教育内容」

対象として

- ① 18~22歳の若年層
- ② 社会人経験者

企業側からデジタルスキル習得のため  
社員のリスクリング需要あり

教育内容やレベルとして

- A. リテラシー
- B. 応用基礎
- C. 実務適用

実務やプロジェクト運用ノウハウも必要

地域企業のDXにつながるようにリテラシーから応用基礎を学んでもらうことが重要

# 必要な知識・スキルから考える「産学連携の育成案」

## 必要な知識・スキル

## 教育・育成方法

調査をもとに  
デジタル人材の知識やスキルを  
再定義すると

業界・業務知識

▶ 座学、インターンシップetc

データサイエンス・AI・数理

▶ 座学、実践実習(ハンズオン)etc

プロジェクトマネジメント

▶ インターンシップ、プロジェクト学習etc

デジタル人材育成に向けた  
産学連携案のイメージ

事例動画教材の開発・提供 ※本事業実施部分

実践実習(ハンズオン)カリキュラムの開発・提供

実践型・長期インターンシップの実施

連携プロジェクト学習(プロジェクトベースドラーニング)の実施

必要な知識やスキルを共同作業や実践から学び取ることを重視

## 「産学連携の育成案」の詳細

### 連携案

### 具体的な内容

実践実習(ハンズオン)  
カリキュラムの開発・提供

データエンジニアリング・データサイエンス・AI活用に関する実践カリキュラムの開発。Pythonを使ったコーディングレベルとBIツールを活用したノーコードレベルが存在する。データ活用 15コマ、AI活用15コマのパッケージ教材をつかって、広く大学に普及させる。企業から提供可能なデータを受け付けて、ケーススタディとして教材を開発する。

実践型・長期インターンシップの実施

データ・AI活用の応用基礎を学んだ学生に対する実践型インターンシップを産学共同で実施。実際に現場の業務に入ってもらい、実務を担当し、学んだことを実践してもらう。その中で机上で学びづらい実務や業界知識を学び、大学での学びに活かす。

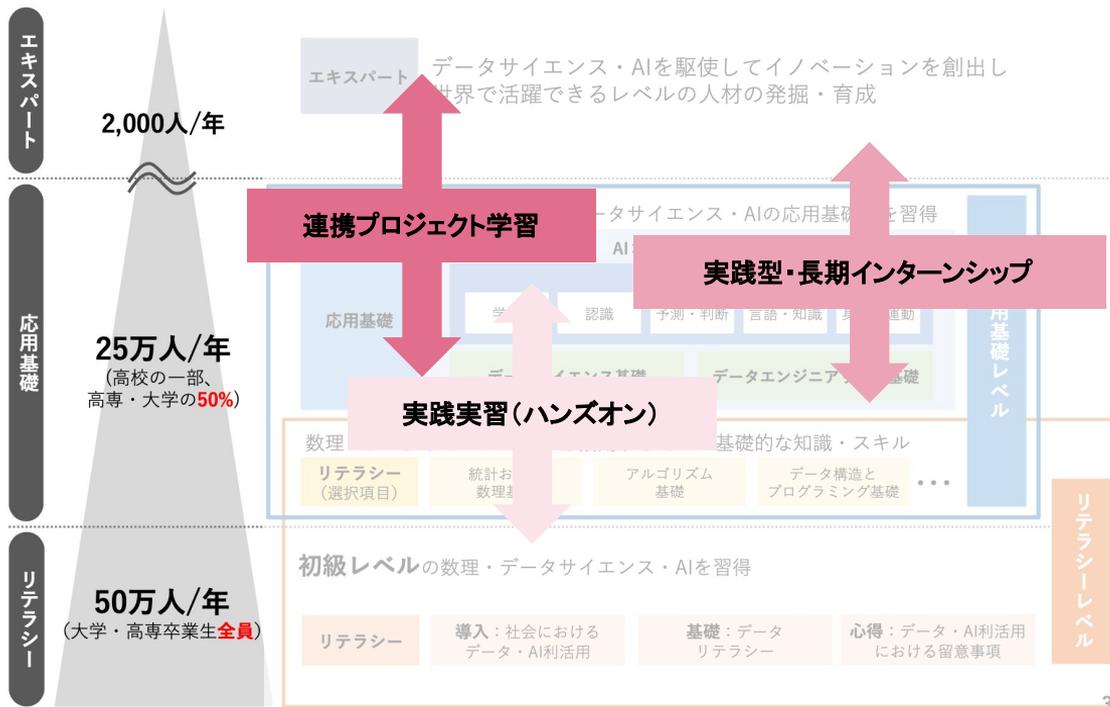
連携プロジェクト学習の実施

内容はインターンシップと近いが、職場ではなく大学のほうを中心に行い、企業からメンターを派遣してもらう。企業負担やメリットを考え、オンライン会議ツールの活用や企業の採用活動とも連携する。例えば、地域社会の課題をテーマにして、学生がデータ活用を実践し、企業メンターがサポートするような構成もあり得る。

**本事業の動画事例教材の次として、実践実習カリキュラムが汎用的で拡張性が高い  
インターンやプロジェクト学習は企業負担を下げつつ、企業の採用メリットをつくり、  
相互に取り組みのメリットを創出し、持続可能な取り組みとして定着させる**

# 連携案の位置付け

## 数理・データサイエンス・AI教育（リテラシーレベル・応用基礎レベル）

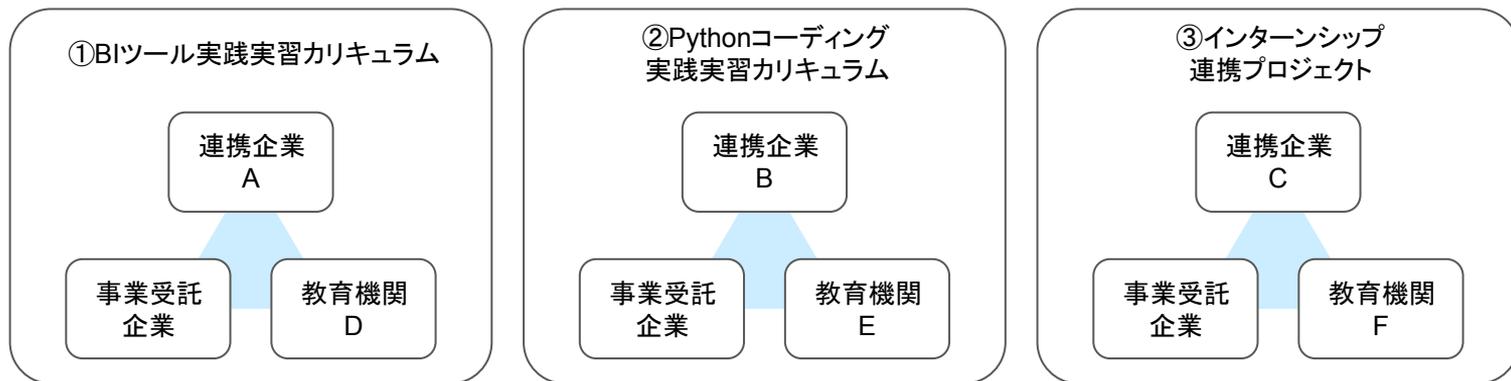


応用基礎レベルの人材育成として、産学連携による「実践的デジタル人材」が期待される

# 次年度以降の連携案

産学連携の実践実習(ハンズオン)カリキュラムを2つ、①BIツール、②Pythonコーディング  
③インターンシップまたは連携プロジェクトを1件を令和6~7年を目処に実施。  
事業受託企業を中心に、3つの企業と3つの教育機関でそれぞれ連携して事業に取り組む。

連携  
体制



流れ

令和6年度

実践実習(ハンズオン)カリキュラム策定・開発

カリキュラム実施(トライアル)

内容の具体化

カリキュラム調整

受講者の募集

令和7年度~

カリキュラム展開

インターンシップ  
または連携プロジェクト  
の実施

1. データサイエンスやAI領域の教員は、公募しても応募がない
  - そもそも該当人材の母数が少ない
  - 給与や待遇など条件が相対的に弱く、選ばれにくい
2. 地域産業では、高度な技術よりも活用や実践に重きが置かれている
  - デジタル化(RPA、BPR、効率化など)に課題を持つ企業が多く、その次にデータ活用がテーマとなっている。
3. 企業側も講師で派遣可能なスキルある人材が不足している
  - いたとしても、実務で忙しい
  - 逆に自社人材に、統計やデータサイエンスの基礎をリスキルさせたい
4. 結論
  - 今回、リテラシーレベルに向けた事例の動画教材を作成した
  - 今後は応用基礎レベルの実践的なカリキュラムを開発し、汎用的な教材や指導マニュアルを整備し、既存大学教員への研修を行い、取り組みを拡大する
  - 企業と連携が可能な(一部の)大学は、協同して実践的なインターンシップやプロジェクト学習に取り組む